

令和4（2022）年度 東京大学大学院新領域創成科学研究科 博士後期課程学生募集要項

教育研究上の目的

東京大学大学院新領域創成科学研究科は、東京大学既存のすべての部局の全面的な協力のもと平成10年に新設された、修士・博士課程のみの大学院（独立研究科）です。本研究科は、従来の学問分野とは異なる新しい視野から、現代の科学技術が前提としてきた枠組みそのものの中に内在する重要な諸問題の解決に挑戦する事を目的としています。これまでの科学は専門性を深く探求することに専念したために、お互いの関係性が見えにくい場合も多く、いくつかの弊害も出てきました。相互関係性を深く認識し合うとともに、既存の分野を超えた新しい受け皿を作ることにより、現実には即した本質的な英知に至ることが可能になると考えます。この新たな領域に果敢に挑戦するため、本研究科では「学融合」を基本理念に、既存の個別学問分野から派生する未開拓の領域を研究・教育の対象とし、領域横断的な視点と高度な問題解決能力を有する「国際性豊かな」人材を育成しています。

<https://www.k.u-tokyo.ac.jp/>

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

1. 求める学生像

東京大学大学院新領域創成科学研究科博士課程は、専門分野での基礎的な研究遂行能力、及び語学・コミュニケーション能力に基づき自立して研究を行う強い意欲を持ち、将来、多様な分野を融合し、卓越した研究成果を創出できる学生を求める。

2. 入学者選抜の基本方針

上記1. の求める学生像に基づき、筆記試験・口頭試問等による個別の学力検査により、以下の項目を総合的に評価し選抜を行う。

- ・専門分野又は関連分野における研究経験
- ・専門分野及び関連分野に関する高度な知識
- ・論理的に思考し、説明する能力
- ・英語でコミュニケーションする能力
- ・志望分野において、先駆的な研究課題を自ら設定し、解決する能力
- ・多様な分野を能動的に学ぶ意欲

はじめに

この要項の目的と役割

この募集要項は、東京大学大学院新領域創成科学研究科博士後期課程学生募集に当たっての基本事項をまとめたものです。ここに記載する基本事項に加えて、各専攻（注）が独自に求める事項や入試の実施方法等、詳細については、各専攻の入試案内書あるいは関連ウェブサイト上に記載されていますので、確認してください。

<https://www.k.u-tokyo.ac.jp/exam/>

注 本研究科には11専攻がありますが、そのほかに独自の入試を行う教育プログラム（サステナビリティ学グローバルリーダー養成大学院プログラム）があります。本要項で単に専攻（あるいは各専攻）と記載した場合は、サステナビリティ学グローバルリーダー養成大学院プログラムを含めます。

1. 入学時期

令和4（2022）年4月

なお、専攻により入試日程A において令和3（2021）年10月入学、入試日程B において令和4（2022）年10月入学を認める場合がありますので、専攻の入試案内書を参照してください。

入試日程A において令和3（2021）年10月入学を希望する者は、下記2. 出願資格の(1)～(3)の「令和4（2022）年3月31日」を「令和3（2021）年9月30日」と読み替えてください。

入試日程B において令和4（2022）年10月入学を希望する者は、下記2. 出願資格の(1)～(3)の「令和4（2022）年3月31日」を「令和4（2022）年9月30日」と読み替えてください。

2. 出願資格

(1) 一般入試

- ① 日本の大学において、修士の学位又は専門職学位を得た者及び令和4（2022）年3月31日^(注5)までに修士の学位又は専門職学位を得る見込みの者^(注1)
- ② 大学改革支援・学位授与機構により、修士の学位を授与された者及び令和4（2022）年3月31日^(注5)までに授与される見込みの者
- ③ 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和4（2022）年3月31日^(注5)までに授与される見込みの者^(注2)
- ④ 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和4（2022）年3月31日^(注5)までに授与される見込みの者
- ⑤ 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び令和4（2022）年3月31日^(注5)までに授与される見込みの者
- ⑥ 外国の学校、上記出願資格④の指定を受けた教育施設又は国際連合大学において、大学院設置基準第16条の2に規定する博士論文研究基礎力審査に相当するものに合格した者及び令和4（2022）年3月31日^(注5)までに合格する見込みの者で、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると本研究科において認めた者^(注3)
- ⑦ 日本の大学を卒業又は外国において学校教育における16年の課程を修了した者で、日本又は外国の大学若しくは研究所等において2年以上研究に従事した者及び令和4（2022）年3月31日^(注5)までに2年以上研究に従事する見込みの者で、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると本研究科において認めた者^{(注1)(注2)(注3)}
- ⑧ 個別の入学資格審査をもって、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると本研究科において認めた者で、令和4（2022）年3月31日^(注5)において24歳に達しているもの^(注3)

ただし、大学院に在籍している者は、個別の入学資格審査の対象となりません。

(2) 社会人等特別選抜

企業・官公庁・団体等に在職している者^(注4)で、(1)の①～⑧いずれかの要件を満たす者は、社会人等特別選抜を受験することができます。

(3) 外国人等特別選考

以下のいずれかの要件を満たす者は、外国人等特別選考を受験することができます。ただし、外国人であっても、日本において、後期中等教育（日本における高等学校に相当）を修了した者、大学教育を修了した者、又は修士の学位に相当する学位を授与された者〔令和4（2022）年3月31日^(注5)までに修了見込みの者を含む〕は一般入試を受験しなければなりません。

- ① 外国において後期中等教育及び大学教育を修了し、かつ修士の学位に相当する学位を授与された者、又は令和4（2022）年3月31日^(注5)までに授与される見込みの者
- ② 外国において後期中等教育及び大学教育を修了した者、又は外国において学校教育における

16年の課程を修了した後、外国の大学若しくは研究所等において2年以上研究に従事した者及び令和4（2022）年3月31日^{（注5）}までに2年以上研究に従事する見込みの者で、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると本研究科において認められた者^{（注3）}

③ 次の各号に掲げる出願資格の全てに該当する者^{（注3）}

ア．大学院の修士課程に相当する教育施設の卒業者（修了者）等で、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると本研究科において認められた者

イ．外国において教育を受けた期間が、外国人等特別選考の出願資格を有するものと本研究科が認めた者

ウ．令和4（2022）年3月31日^{（注5）}において24歳に達している者

（注1） (1)の①、⑦の「日本の大学」とは、学校教育法83条の定める日本国内の大学を示す。

（注2） (1)の③、⑦には外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了した場合を含む。

（注3） (1)の⑥～⑧（(2)で(1)の⑥～⑧にあたる者を含む）及び(3)の②、③の資格により出願しようとする者は、出願前に個別の入学資格審査を行います。

審査の結果、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた後に、出願を受け付け、受験を許可しますので、希望者は予め本研究科教務チームに問い合わせ、指示された書類を郵送してください。申請期間は別表2（A-1、B-1）のとおりです。

（注4） 在職の要件など、専攻によって異なります。

（注5） 令和3（2021）年10月入学を希望する者は、「令和4（2022）年3月31日」を「令和3（2021）年9月30日」と読み替えてください。令和4（2022）年10月入学を希望する者は、「令和4（2022）年3月31日」を「令和4（2022）年9月30日」と読み替えてください。

3. 入試の種類、募集人員

入試日程、及び専攻毎に異なります。別表1を参照してください。

4. 選抜方法

入学者は、筆記試験、口述試験、修士の学位論文、又はこれに代わるものについての試験、提出書類等を総合的に判定し選抜します。

5. 出願手続

(1) 出願は、オンライン出願サイトより手続きを行ってください。

(2) 出願期間 出願期間は、別表2（A-3、B-3）を参照してください。

(3) 出願方法については本研究科ウェブサイト（<https://www.k.u-tokyo.ac.jp/exam/>）を必ず確認の上出願してください。

(4) 問い合わせ先 〒277-8561 千葉県柏市柏の葉5丁目1番5号
東京大学大学院新領域創成科学研究科 教務チーム
電話 04-7136-4092
E-mail gsfs-exam@edu.k.u-tokyo.ac.jp

(5) 受験票 受験票は別表2（A-4、B-4）の日程で直接、本人に電子ファイルで送付します。別表2（A-4、B-4）「摘要」欄記載の期日までに受験票が到着しない場合は、必ず受験票を受領していないことを本研究科教務チームに連絡してください。

6. 併願の禁止

次のような出願はできません。

(1) 本研究科内の2つ以上の専攻（あるいはサステイナビリティ学グローバルリーダー養成大学院プログラムと他の専攻）に同時に出願すること。

- (2) 入試日程Aに出願して合格した者（第1次試験合格者を含む）が入試日程Bに出願すること。
- (3) 同一日程において博士後期課程の一般入試、社会人等特別選抜及び外国人等特別選考のいずれか2つ以上の入試に重複して出願すること。

7. 試験期日及び場所

- (1) 試験に関連する日程は、別表2を参照してください。
なお、専攻によっては、入試日程A（4月入学）の第1次試験と第2次試験を8月に、入試日程B（10月入学）の第1次試験と第2次試験を1～2月に、同時に行う場合があります。
詳しくは各専攻の入試案内書、及び関連ウェブサイトを確認してください。
- (2) 実施方法等については、別途通知します。なお、研究科、及び各専攻のウェブサイトでも確認してください。
- (3) 第1次試験合格者にのみ、第2次試験の期日等を通知します。

8. 提出書類

- (1) 提出書類は全て、日本語又は英語で作成してください。これら以外の言語で記載されている証明書等には、和訳又は英訳を添付してください。
- (2) 書類の種類、及び注意事項は別表3を参照してください。

9. TOEFL、TOEIC、IELTSのスコア

専攻により、TOEFL、TOEIC 又はIELTS のスコアシートの提出が必要な場合があります。TOEFL、TOEIC 及びIELTS のスコアシートは、入試日程Aの場合は令和元(2019)年9月1日以降に受験したもの、入試日程Bの場合は令和2(2020)年2月1日以降に受験したものでなければなりません。

- (1) 提出期限は、志望専攻の入試案内書を確認してください。
- (2) 提出方法

【TOEFL スコアシート】

TOEFL テストには、[1] TOEFL-PBT、[2] TOEFL-iBT (TOEFL iBT® Special Home Edition)については専攻で取扱いが異なるため志望専攻の入試案内書を確認すること)、[3] TOEFL-ITP (令和4(2022)年度本研究科入学試験以外の団体で受験したもの)がありますが、[1][2]のスコアのみ有効とします。TOEFL のスコアシートについては、下記2点の両方を本研究科へ提出してください。

- ① ETS (Educational Testing Service) から本人宛に送付された“Test Taker Score Report”のコピー
- ② ETSから本研究科宛に直送される “Institutional Score Report”

①の“Test Taker Score Report”のコピーについては、(1)の提出期限までに研究科宛に提出されたものを有効とします。②の“Institutional Score Report”の提出にあたっては、ETSに東京大学大学院新領域創成科学研究科宛「DI (Designated Institution) コード：“8001” (Department コード：“99”)へInstitutional Score Report を(1)の提出期限までに届くように送付請求してください。これからTOEFL の受験をする場合はその受験時に請求してください。提出期限までに間に合わない場合は、本研究科教務チームにご連絡ください。

なお、ETS から研究科へ送付される “Institutional Score Report” は海外便で送付されてくるため、請求してから研究科に届くまでにはかなりの日数を要するので、請求の手続きは(1)の提出期限から6週間以上前に行うことをお勧めします。また、TOEFLを複数受験したことにより、ETS から “Institutional Score Report” が複数枚研究科に送付された場合は、①と同一のスコアを採用します。

これからTOEFL-iBT による受験をする際に、試験時のコンピュータ画面に本研究科のDI コード：“8001” がリストにない場合は、試験終了後に監督官へその旨を伝え、専用用紙に記入して申請し

てください。注) 東京大学：“9259”では請求しないでください。

【TOEIC スコアシート】

TOEIC テストには、[1] TOEIC 公開テスト、[2] TOEIC スピーキングテスト/ライティングテスト、[3] TOEIC IP テスト（団体特別受験制度）がありますが、[1] のスコアのみ有効とします。TOEICの“Official Score Certificate”（公式認定証）は、(1)の提出期限までに本研究科宛に提出してください。

【IELTS スコアシート】

IELTSテストには、[1]アカデミック・モジュール、[2]ジェネラル・トレーニング・モジュール、がありますが、[1]のスコアのみ有効とします。

IELTSの成績証明書（Test Report Form）の提出については、下記2点の両方を本研究科へ提出してください。

- ①試験実施機関から本人宛に送付された成績証明書（Test Report Form）のコピー
- ②試験実施機関から本研究科宛に直送される成績証明書（Test Report Form）

①の成績証明書（Test Report Form）のコピーについては、(1)の提出期限までに本研究科宛に提出されたものを有効とします。②の成績証明書（Test Report Form）の提出にあたっては、試験実施機関に東京大学大学院新領域創成科学研究科教務チームへ(1)の提出期限までに届くように送付請求してください。提出期限までに間に合わない場合は本研究科教務チームにご連絡ください。

(3) 注意事項

スコアシートの提出期限までに開催されるTOEFL/TOEIC/IELTSの試験は、その回数が限られています。したがって、日程に十分に余裕を持って受験してください。

TOEFL/TOEIC/IELTSの試験日・スコアの再発行の請求方法など、詳細については下記のウェブサイトを参照するか、又は試験の実施機関に問い合わせてください。

TOEFL: <https://www.ets.org/jp/toefl/>

TOEIC: <http://www.toeic.or.jp/>

IELTS: <https://www.eiken.or.jp/ielts/>

10. 合格者の発表及び入学手続

- (1) 入試日程毎の合格者発表、手続き期間は、別表2を参照してください。
- (2) 合格者にのみ合格通知書、及び入学手続き書類を郵送します。
- (3) 電話、FAX、電子メールによる可否についての照会には応じません。
- (4) 所定の期間内に入学手続（入学料の納付を含む）を行わない場合には、入学の意志がないものとして取り扱います。
- (5) 入学時に必要な経費（令和4（2022）年度予定額）は以下のとおりです。なお、入学時又は在学中に学生納付金改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金額が適用されます。また、日本国政府（文部科学省）奨学金留学生に対しては免除されます。

①入学料 282,000円

②授業料（前期分） 260,400円（年額520,800円）

11. 注意事項

- (1) 出願手続後は、どのような事情があっても書類の変更は認めません。また、提出された書類の返却もしません。
- (2) 検定料は、出願手続後は、どのような事情があっても払戻しをしません。

- (3) 入学料は、入学手続後は、どのような事情があっても払戻しをしません。
- (4) 障害等のある者で、受験及び修学上特別な配慮を希望する場合は、別表2 (A-2, B-2) の期限までに本研究科教務チームに申し出てください。
- (5) 外国人は、入学までに「出入国管理及び難民認定法 (昭和26年政令第319号)」による在留資格を取得しなければなりません。
- (6) 企業、官公庁、団体等に在職のまま大学院に入学を希望する者は、勤務先から「大学院に入学することに支障はない」旨が記載された書類 (様式任意) を入学手続の際に提出することを基本としますが、専攻により異なる場合があるので志望専攻の入試案内書を確認してください。
- (7) 本研究科は、出願に当たって知り得た受験者の氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜 (出願処理、選抜実施)、②合格発表、③入学手続業務を行うためにだけ利用します。また、入学した者については、同個人情報を①教務関係 (学籍、修学等)、②学生支援関係 (健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請、図書館の利用等)、③授業料徴収に関する業務を行うためにだけ利用し、これ以外の目的に利用することはありません。
- (8) 入学者選抜に用いた試験成績は、今後の本学の入試及び教育の改善に向けた検討のために利用することがあります。
- (9) 出願書類において虚偽の記載や偽造が発見された場合、ならびに試験において不正行為があったことを示す明確な証拠が出てきた場合は、合格後、及び入学後においても遡って入学を取り消すことがあります。
- (10) 自然災害その他の事情により、試験の日程及び実施方法等を変更することがあります。その場合は本研究科ウェブサイト等で発表します。
- (11) 東京大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づいて「東京大学安全保障輸出管理規則」を定めて、技術の提供及び貨物の輸出の観点から外国人留学生の受入れに際し厳格な審査を行っています。

規制されている事項に該当する場合は、希望する研究活動に制限がかかる場合や研究ができない場合がありますので、ご注意ください。なお、詳細については、以下の本学安全保障輸出管理支援室ウェブサイトを参照してください。

<https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/export-control/ja/rule.html>

令和3 (2021) 年4月

東京大学大学院新領域創成科学研究科

〒277-8561 千葉県柏市柏の葉5丁目1番5号

(担当事務部：東京大学大学院新領域創成科学研究科教務教務チーム)

Tel : 04-7136-4092

<https://www.k.u-tokyo.ac.jp/>

別表1 入試の種類、募集人員等

【入試日程A】

下の表で専攻名が無い場合は、当該の入試による募集を行いません。【注1】

入試の種類	専攻名	募集人員	試験の種類
一般入試	物質系	18名	各専攻の入試案内書を本研究科ウェブサイトで購入し、確認すること。
	先端エネルギー工学	12名	
	複雑理工学	11名	
	先端生命科学	23名	
	メディカル情報生命 (メディカルイェンス群) (医療イノベーションコース)	24名	
	メディカル情報生命 (情報生命科学群)		
	自然環境学	若干名	
	海洋技術環境学	7名	
	環境システム学	8名	
	人間環境学	16名	
	社会文化環境学	14名	
	国際協力学	10名	
社会人等 特別選抜	物質系	若干名	
	先端エネルギー工学	若干名	
	先端生命科学	若干名	
	自然環境学	若干名	
	海洋技術環境学	若干名	
	人間環境学	若干名	
外国人等 特別選考	物質系	若干名	
	先端エネルギー工学	若干名	
	先端生命科学	若干名	
	自然環境学	若干名	
	海洋技術環境学	若干名	
	環境システム学	若干名	
	人間環境学	若干名	
	国際協力学	若干名	
合計（入試日程Bと合せて）		計163名 〔備考(1)参照〕	

【注1】 サステナビリティ学グローバルリーダー養成大学院プログラムでは、入試日程Bでのみ募集を行います。

【入試日程B】

下の表で専攻名が無い場合は、当該の入試による募集を行いません。【注2】

入試の種類	専攻名	募集人員	試験の種類
一般入試	複雑理工学	若干名	各専攻・プログラムの入試案内書を本研究科ウェブサイト で入手し、確認すること。
	先端生命科学	若干名	
	メディカル情報生命	若干名	
	自然環境学	20名	
	海洋技術環境学	若干名	
	環境システム学	若干名	
	人間環境学	若干名	
	国際協力学	若干名	
	サステナビリティ学グローバルリーダー養成大学院プログラム【注2】	〔備考(2)参照〕	
社会人等特別選抜	先端生命科学	若干名	
	自然環境学	若干名	
	海洋技術環境学	若干名	
	環境システム学	若干名	
	人間環境学	若干名	
外国人等特別選考	物質系	若干名	
	先端生命科学	若干名	
	自然環境学	若干名	
	海洋技術環境学	若干名	
	環境システム学	若干名	
	人間環境学	若干名	
	国際協力学	若干名	

【注2】 サステナビリティ学グローバルリーダー養成大学院プログラムでは、外国人等特別選考を行いませんが、一般入試を英語のみで実施します。

備考

- (1) 受験者の成績によっては、入学許可者数が募集人員に達しない場合があります。
- (2) サステナビリティ学グローバルリーダー養成大学院プログラムの募集人員については、

環境学研究系の6専攻（自然環境学専攻、海洋技術環境学専攻、環境システム学専攻、人間環境学専攻、社会文化環境学専攻及び国際協力学専攻）の定員の枠内で総合的に判断して決定されます。

別表2 入学試験関連日程

【入試日程A】

番号	日程	事項	摘要
A-1	令和3(2021)年5月13日(木)～24日(月)(必着)	個別の入学資格審査申請期間	出願資格(1)⑥～⑧該当者、(2)で(1)の⑥～⑧該当者、(3)②③該当者のみ。他の資格者は申請不要。
A-2	5月19日(水)まで	受験、及び修学上の特別な配慮の申し出	障害等のある者で、受験及び修学上特別な配慮を希望する者
A-3	6月9日(水)～17日(木)	出願期間	出願方法等については本研究科ウェブサイト(https://www.k.u-tokyo.ac.jp/exam/)を確認すること。
A-4	7月中旬	受験票送信	7月15日(木)までに出願時に登録したメールアドレスに届かない場合は、教務チームへ連絡のこと。
A-5	8月上旬～8月下旬	I:第1次試験を実施 II:第1次試験と第2次試験を同時に実施	日時、試験の内容、及びI、IIのいずれかは出願専攻の入試案内書等で確認のこと。
A-6	9月7日(火)	合格者の発表	午前10時に新領域創成科学研究科掲示板(新領域基盤棟)に掲示。なお、下記URLでも確認することができる。 https://go.k.u-tokyo.ac.jp/gsfes-exam I:第1次試験合格者(A-8で第2次試験を行う者)へは1次合格通知、II:第2次試験合格者(令和3(2021)年10月入学)へは入学許可書類を送付。
A-7	9月21日(火)～22日(水)	入学料の納付、及び入学手続	令和3(2021)年10月入学者対象
A-8	12月中旬	第2次試験日程等送信	通知方法は専攻毎に異なる。
A-9	令和4(2022)年1月～2月上旬	第2次試験(第2次試験を1～2月に行う専攻)	試験の内容は出願専攻の入試案内書等で確認のこと。
A-10	2月14日(月)	第2次試験合格者の発表	午前10時に新領域創成科学研究科掲示板(新領域基盤棟)に掲示。令和4(2022)年4月入学者(A-6での発表者を含む)に入学許可書類送付。
A-11	3月1日(火)～3日(木)	入学料の納付、及び入学手続	令和4(2022)年4月入学者対象

【入試日程B】

番 号	日 程	事 項	摘 要
B-1 (必)	令和3(2021)年 10月12日(火)～ 18日(月)(必着)	個別の入学資格審査申請期間	出願資格(1)⑥～⑧該当者、(2)で(1)の⑥～⑧該当者、(3)②③該当者のみ。他の資格者は申請不要。
B-2	10月18日(月)まで	受験、及び修学上の特別な配慮の申し出	障害等のある者で、受験及び修学上特別な配慮を希望する者
B-3	11月16日(火) ～ 11月25日(木)	出願期間	出願方法等については本研究科ウェブサイト(https://www.k.u-tokyo.ac.jp/exam/)を確認すること。
B-4	12月中旬	受験票送信	令和3(2021)年12月21日(火)までに出願時に登録したメールアドレスに届かない場合は、教務チームへ連絡のこと。
B-5	令和4(2022)年1 月～2月上旬	I：第1次試験を実施 II：第1次試験と第2次試験を同時に実施	日時、試験の内容、及びI、IIのいずれかは出願専攻の入試案内書等で確認のこと。
B-6	2月14日(月)	合格者の発表	午前10時に新領域創成科学研究科掲示板(新領域基盤棟)に掲示。なお、下記URLでも確認することができる。 https://go.k.u-tokyo.ac.jp/gsfes-exam I：第1次試験合格者(B-9で第2次試験を行う者)へは1次合格通知、II：第2次試験合格者(令和4(2022)年4月入学者)へは入学許可書類を送付。
B-7	3月1日(火)～3 日(木)	入学料の納付、及び入学手続	令和4(2022)年4月入学者対象
B-8	7月	第2次試験日程等送信	通知方法は専攻毎に異なる。
B-9	8月	第2次試験(修士論文審査、口述等)(第2次試験を8月に行う専攻)	試験の内容は出願専攻の入試案内書等で確認のこと。
B-10	9月	第2次試験合格者の発表	午前10時に新領域創成科学研究科掲示板(新領域基盤棟)に掲示。令和4(2022)年10月入学者へ入学許可書類送付。
B-11	9月	入学料の納付、及び入学手続	令和4(2022)年10月入学者対象

別表3 提出物一覧

提出物の種類	提出者	摘要
(1) 写真ファイル	全員	オンライン出願サイトからアップロードしてください (ファイル種別：jpeg形式、サイズ：縦308ピクセル×横236ピクセル、解像度：300dpi、最大1MBまで)
(2) 検定料	全員	ア. 検定料（金額については各専攻の入試案内書を確認すること。） ただし、下記の者について検定料支払いは不要です。 ・本学において令和4（2022）年3月（令和3（2021）年10月入学の場合は令和3（2021）年10月、令和4（2022）年10月入学の場合は入学日の前日）までに修士の学位又は専門職学位を得る見込みで、引き続き博士後期課程へ入学を希望する者 ・外国人出願者のうち、日本国政府（文部科学省）奨学金留学生 ただし、本学に在学中（研究生を含む）の者以外は、日本国政府（文部科学省）奨学金留学生である証明書を提出してください。 イ. 支払方法 オンライン出願サイトより支払い手続きを行ってください。
(3) 出身大学、及び大学院の成績証明書	全員 (本研究科修士課程を修了・修了見込の者は不要。また、提出を要さない専攻もある。志望する専攻の入試案内書で確認すること)	学部（教養課程を含む）及び修士課程（博士前期課程）/専門職学位課程の成績を証明するもの。編入学の経歴がある場合は、編入学前の大学等の成績証明書も提出してください。高等専門学校専攻科出身者は、学科・専攻科両方の成績証明書を提出してください。原本を提出できない場合は、出願前に新領域創成科学研究科教務チームまで問い合わせてください。
(4) 出身大学院の修了証明書	既に大学院を修了した者 (本研究科修士課程修了者は不要)	原本を提出できない場合は、出願前に新領域創成科学研究科教務チームまで問い合わせてください。修了見込証明書の提出は不要です。（専攻から提出指示のある場合を除く）
(5) 志望調査票	全員	本研究科ウェブサイトよりダウンロードした志望専攻の所定の様式に、所要事項を記入してください。
(6) 学業・職務両立計画書	企業・官公庁・団体等に在職する者で、在職の身分のまま入学を希望する者	企業・官公庁・団体等に在職する者で、在職のまま入学し、研究を行うことを予定している者は、学業と職務を両立させることについての計画を提出してください。（A4判、様式任意）
(7) 住民票	現に日本国に在住している外国人のみ	外国人登録を行った市区町村役所で交付申請を行ってください。在留カードのコピーは認められません。
(8) その他	該当者	志望専攻により上記以外の書類（日本語能力証明書、TOEFLスコアシート、研究計画書、中国学位・学歴認証システムによる証明書等）の提出を求めることや、提出を免除することがあります。各専攻の入試案内書で確認してください。

※ (3)、(4)、(7)はオンライン出願サイトからアップロードした後、新領域創成科学研究科教務チーム宛郵送してください。

*This document is a translation of the Japanese version. In the event that any question should arise about this version, the Japanese version is the authoritative version.

Guidelines for Applicants to the 2022 Doctoral Course

Graduate School of Frontier Sciences

The University of Tokyo

Purpose

Established in 1998 through a collaborative effort including every department and division of The University of Tokyo, the Graduate School of Frontier Sciences (GSFS) embodies a new transdisciplinary field, created as an independent research entity, providing master and doctoral degree courses only. GSFS aims to take up the challenge of finding solutions to current key issues restricted by the very framework that separates the fields of science and technology, by adopting entirely new standards, which will allow for integration among conventional academic fields. In the past, science has overemphasized the quest for scientific truth in strictly defined fields of study, frequently overlooking interrelationships between the different fields resulting in a narrow overall perspective. GSFS considers it essential to further intellectual pursuits addressing today's reality by creating a new disciplinary field that embodies an overarching view of several disciplines, allowing in-depth recognition of their interrelationships. In order to confront this challenge resolutely from a new and unique perspective, GSFS defines “fusion of academic fields” as its basic philosophy, and offers educational and research opportunities in the unexplored areas that would otherwise be restricted by existing academic fields. This program is for “fully globally minded” students desiring to explore emerging concepts requiring a cross-dimensional viewpoint, with highly developed problem solving capabilities.

website: <https://www.k.u-tokyo.ac.jp/index.html.en>

Admission Policy

(1) GSFS students

For doctoral course, GSFS seeks students who have a strong motivation to conduct independent research based on their basic research execution ability in their specialized fields, as well as language and communication skills, and will produce outstanding transdisciplinary research results in the future.

(2) Basic policy for admissions selection

Based on the above (1) GSFS students, the following items will be comprehensively evaluated and selected by individual academic ability tests such as written examinations and oral examinations.

- Research experience in their specialized fields and related fields
- Advanced knowledge of specialized fields and related fields
- Capability to think and explain logically
- Capability to communicate in English
- Capability to take the initiative to determine and solve pioneering research problems in their desired area of study
- Desire to actively learn a broad range of academic disciplines

Introduction

Guidelines Objective

These guidelines outline the basic items for admitting students to a doctoral course in GSFS. In addition to the basic items described, more details on the requirements specific to each department* as well as entrance examinations and other important matters are specified in the entrance examination guide of each department and on our website listed below. Also, be sure to confirm specific details using the following list of websites:

website: <https://www.k.u-tokyo.ac.jp/exam e/>

*GSFS has 11 departments and one program: Graduate Program in Sustainability Science-Global Leadership Initiative which conducts its own independent entrance examination. Whenever *department* or *each department* is referred to in these guidelines, the Graduate Program in Sustainability Science-Global Leadership Initiative is included.

1. Admission Period—April 2022

These guidelines are for students applying for April 2022 admission. However, depending on departments, applying for October 2021 admission may be possible under Schedule A, and applying for October 2022 admission may be possible under Schedule B. Please refer to the entrance examination guide of each department or relevant website for details.

Those applying for October 2021 admission under Schedule A should read “March 31, 2022” as “September 30, 2021” in the subsequent section: 2. *Applicant Eligibility*, (1), (2) and (3).

Those applying for October 2022 admission under Schedule B should read “March 31, 2022” as “September 30, 2022” in 2. Applicant Eligibility, (1), (2) and (3).

2. Applicant Eligibility

(1) Ordinary Examination

- ① Those who have obtained or are expected to obtain by March 31, 2022⁵ a Master’s degree or professional degree from a Japanese university¹.
- ② Those who have been conferred or are expected to be conferred a Master's degree on or before March 31, 2022⁵ by the National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education (NIAD).
- ③ Those who have been conferred or are expected to be conferred by March 31, 2022⁵ a degree equivalent to a Master’s or a professional degree abroad.²
- ④ Those who have completed or are expected to complete a program in an educational institution in Japan designated by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology, which provides program of a foreign graduate school within the school education system of a foreign country, and have been conferred or are expected to be conferred by March 31, 2022⁵ a degree equivalent to a Master’s or a professional degree.
- ⑤ Those who have completed or are expected to complete a program at the United Nations University, and have been conferred or are expected to be conferred a degree equivalent to a Master’s degree by March 31, 2022⁵.
- ⑥ Those who have passed or are expected to pass by March 31, 2022⁵ a screening equivalent to the screening for the fundamental ability for doctorate dissertation research as specified in Article 16-2 of the Standards for Establishment of Graduate Schools at a school abroad, an educational institution mentioned in eligibility ④ above, or the United Nations University, and have been recognized by GSFS as having academic abilities at least equivalent to those who have a Master’s degree.³
- ⑦ Those who have graduated from a Japanese university¹ or have completed at least 16 years of school education overseas, and have been engaged or are expected to be engaged in research at a university, research institute, or other institution in Japan or overseas for at least 2 years by March 31, 2022⁵, and have been recognized by GSFS as having academic at least equivalent to those who have a Master’s degree or a professional degree based on said research achievement.^{2, 3}
- ⑧ Those who will be 24 years of age or older by March 31, 2022⁵, and have been recognized by GSFS through individual screening of entrance qualifications as having academic abilities that are at least equivalent to those who have a Master’s degree or professional degree.³

The individual screening of entrance qualifications does *not* apply to students currently enrolled in a graduate school.

(2) Special Selection for Applicants with Professions

Applicants currently employed by a company, government agency, or other organization who satisfy any one of the qualification requirements set forth in ① through ⑧ of Section 2 (1) are eligible for Special Selection for Applicants with Professions.⁴

(3) Special Selection for Applicants with Overseas Education

Applicants who fulfill any one of the following qualification requirements are eligible for Special Selection for Applicants with Overseas Education. However, those foreign nationals who have completed upper secondary school education (equivalent to a high school education in Japan) or university education, or have been conferred or are expected to be conferred a Master degree or equivalent in Japan by March 31, 2022⁵ must take the Ordinary Examination.

- ① Those who have completed upper secondary school education and university education in a foreign country and have been conferred or are expected to be conferred a Master degree or equivalent by March 31, 2022⁵.
- ② Those who, after completing upper secondary school education and university education in a foreign country, or 16 years of school education in a foreign country, have engaged in research or are expected to have engaged in research two or more years conducting research in a university or research institution in a foreign country by March 31, 2022⁵ and who have been recognized by GSFS as having the academic ability equivalent to or greater than those who have a Master degree or other graduate level professional degree.³
- ③ Applicants who meet all of the following qualifications³:
 - a. Those who have graduated from, or completed a program in an educational institution that provides courses equivalent to a Master degree and who have been recognized by GSFS, through individual screening of entrance qualifications, as having the academic ability equivalent to or greater than those who have a Master degree or other graduate level professional degree.
 - b. Those who have been recognized by GSFS as having sufficient education while living in a foreign country to qualify for the Special Selection for Applicants with Overseas Education.
 - c. Those who will be 24 years of age or older by March 31, 2022⁵.

Notes

¹Japanese universities mentioned in the applicant eligibility criteria (1)–①, ⑦ above are universities within the boundaries of Japan as prescribed in Article 83 of the School Education Law.

²The applicant eligibility criteria (1)–③, ⑦ above include the case of having completed a correspondence program provided by a foreign school of said country while residing in Japan.

³To those who intend to apply under the applicant eligibility criteria (1) ⑥–⑧ (including (2) applied to (1) ⑥–⑧ and (3)–②, ③ above), their entrance qualification are screened based on designated documents. The applicants, through individual screening of entrance qualification, will be accepted and allowed to take entrance examination only after GSFS approves as having the academic ability equivalent to or greater than that of a Master degree or other graduate level profession degree. Therefore, please contact the Student Affairs Team in advance, and submit the designated forms according to the application periods listed in Table (2) (A-1, B-1) by postal mail.

⁴Requirements for applicants who maintain employment vary by department.

⁵Those applying for October 2021 admission under Schedule A should read “March 31, 2022” as “September 30, 2021”. Those applying for October 2022 admission under Schedule B should read “March 31, 2022” as “September 30, 2022”.

3. Examination Types and Admission Quotas by Department

Examination types and admission quotas vary according to schedules A/B and departments. See Table 1 for details.

4. Selection Process

The results of the selection process shall be made based upon a comprehensive evaluation of the results of the applicant’s entrance examination, Master thesis review or equivalent, and all other submitted documents.

5. Application Procedures

(1) For Application, please complete the procedure from the Online Application Site.

(2) Application Period

For details, see Table 2 (A-3 and B-3).

(3) Submission Methods

Please check this website: https://www.k.u-tokyo.ac.jp/exam_e/

(4) For inquiries, please contact:

Student Affairs Team

Graduate School of Frontier Sciences

The University of Tokyo

5-1-5 Kashiwanoha, Kashiwa City, Chiba 277-8561 JAPAN

Phone: +81-4-7136-4092 Email: gsfs-exam@edu.k.u-tokyo.ac.jp

(5) Examination Admission Ticket

GSFS will send an entrance examination admission ticket by pdf directly to your email address according to the schedule in Table

2 (A-4 and B-4). If the entrance examination admission ticket does *not* arrive by the dates listed on Table 2 (A-4 and B-4), contact the Student Affairs Team and notify them of non-receipt.

6. Multiple Applications

Applicants may not apply: 1) to two or more departments within GSFS (or Graduate Program in Sustainability Science-Global Leadership Initiative and any of other department at the same time, 2) for Schedule B when they pass the examination according to Schedule A, or 3) to any two or more entrance examinations among Ordinary Examination, Special Selection for Applicants with Professions, and Special Selection for Applicants with Overseas Education in the doctoral course.

7. Examination Schedule, Methods, and Venue

- (1) For the details of examination schedule, see Table 2. Note that some departments may hold first and second examinations for Schedule A simultaneously in August, and hold first and second examination for admission in October according to Schedule B in January or February. For details, please refer to the entrance examination guide of each department or to the relevant websites.
- (2) Announcement of the methods of the examinations will be sent to applicants separately. Please also confirm the details on the website or in the entrance examination guide of the department you are applying to.
- (3) Only applicants who have passed the first examination for departments will be informed of the dates of the second examination.

8. Application Documents

- (1) All documents must be prepared in either Japanese or English. All certificates written in any other language must be accompanied by a Japanese or English translation of the document.
- (2) For required documents and other notes, see Table 3.

9. English Language Competency Test Score Reports: TOEFL TOEIC, IELTS

Some departments require TOEFL, TOEIC, or IELTS score reports to be submitted. TOEFL, TOEIC, or IELTS score reports must reflect tests taken after September 1, 2019 for Schedule A; or after February 1, 2020 for Schedule B.

- (1) Submission Deadline: Check the entrance examination guide of the department you are applying to
- (2) Submission Procedure:

TOEFL Score Report

There are three types of TOEFL tests, [1] TOEFL-PBT, [2] TOEFL-iBT (regarding TOEFL iBT® Special Home Edition please refer to the entrance examination guide of the department you are applying to), and [3] TOEFL-ITP. GSFS, however, accepts only [1]TOEFL-PBT and [2]TOEFL-iBT test results.

For TOEFL score reports, *both* of the following two items must be submitted to GSFS:

- i Copy of *Test Taker Score Report* sent to the examinee from the Educational Testing Service
- ii *Institutional Score Report* directly mailed from ETS to GSFS

With regards to i Copy of *Test Taker Score Report*, the copy must be submitted to GSFS on or before your department's submission deadline in order to be valid.

With regards to submitting the ii *Institutional Score Report*, the applicant must request ETS to send an Institutional Score Report to the Designated Institution Code "8001"; the Graduate School of Frontier Sciences at The University of Tokyo, and the Department Code "99" to arrive on or before the submission deadline of the department to which you are applying. If you plan to take the TOEFL in the near future, please make this request when applying for or taking the TOEFL test. Those who cannot make the deadline must contact the Student Affairs Team.

Please note that the *Institutional Score Report* from ETS to GSFS will be sent by overseas mail and may take a considerable number of days from the date of the applicant's request until GSFS receives it. We recommend that you make the request to ETS at least six (6) weeks before the submission deadline. If you have taken the TOEFL several times and ETS sends multiple *Institutional Score Reports*, then the score report that corresponds to the applicant score report

copy submitted by the applicant will be the only valid report used for application purposes.

If you take the TOEFL-iBT test, and the computer screen of the examination room does not show the DI Code of GSFS 8001, ask the proctor after completing the test for the specific form to request the mailing of the “Institutional Score Report” to GSFS. Note: Do not have this score report sent to The University of Tokyo with DI Code “9259” .

TOEIC Score Report

There are three types of TOEIC tests: [1] Open TOEIC test, [2] TOEIC speaking/writing tests, and [3] TOEIC-IP test (special tests for groups). Only the score report of an [1] Open TOEIC test will be considered valid.

TOEIC *Official Score Certificate* must be submitted to GSFS by the submission deadline.

IELTS Score Report

There are two types of IELTS tests: [1] Academic Module, and [2] General Training Module. Only the score report of [1] Academic Module will be considered valid.

For IELTS score reports, please submit *both* of the following two items to GSFS:

- (i) *Copy of Test Report Form* sent to the examinee from the organization administering the test
- (ii) *Test Report Form* mailed directly from the organization administering the test to GSFS

With regards to i *Copy of Test Report Form*, the copy must be submitted to GSFS by the applicant on or before the deadline of submission mentioned in (1) above.

With regards to submitting ii *Test Report Form*, the form must be requested by the applicant to be mailed directly from the organization administering the test to the Graduate School of Frontier Sciences at The University of Tokyo, to arrive on or before the submission deadline mentioned in (1) above. Those who cannot make the deadline must contact the Student Affairs Team.

(3) Others

Since the number of TOEFL/TOEIC/IELTS tests held before the deadlines for submitting a score report is limited, we recommend that you take the test well in advance of the deadlines.

For details about TOEFL/TOEIC/IELTS tests including test schedules and the procedure for requesting the issuing of score reports, please refer to the respective test websites listed below, or inquire with the organization conducting your test.

TOEFL: <https://www.ets.org/toefl/>

TOEIC: <https://www.iibc-global.org/index.html>

IELTS: <https://www.ielts.org/>

10. Announcement of Results and Admission Procedures

- (1) For announcement of results and the period of procedures, see Table 2.
- (2) Only successful candidates will receive written notification of passing an examination and documents of entrance procedure.
- (3) No telephone, FAX, or E-mail inquiries regarding the results will be accepted.
- (4) If the proper admission procedures (including the payment of enrollment fee) are *not* completed during the designated period, your admission will be nullified.
- (5) Academic Fees and Expenses (planned for the 2022 academic year) that must be paid upon enrollment are as follows:

Enrollment Fee:	JPY 282,000
Tuition for First Semester:	JPY 260,400 (annual tuition: JPY 520,800)

Please note that the fees are subject to change. If fees are revised upon the enrollment or while enrolled, the revised fees shall be applied to the next payment required after the revision. MEXT scholars are exempted from paying these fees.

11. Notes

- (1) Documents may be not amended or revised under any circumstances *after* application documents have been received. No documents will be returned.
- (2) Application screening fees will only be refunded under inevitable situations once application procedures are completed.
- (3) Enrollment fees will *not* be refunded under any circumstances after admission procedures are completed.
- (4) Applicants with disabilities who require special consideration at the examination, or at any other time, should consult the Student Affairs Team by the deadline listed in Table 2 (A-2 and B-2).
- (5) Applicants whose nationality is *not* Japanese must hold resident status that permits enrollment in a graduate school as stated in the Immigration and Refugee Recognition Act (1951 Government Ordinance No. 319). This status must be acquired by the time of enrollment.
- (6) As part of the GSFS admission procedure, applicants who plan to enroll while being employed by a company, government agency, or other organization must submit a letter (format is optional) from their work place supporting their admission to GSFS. As each department may have different requirements for this letter, please refer to the specific entrance examination guide published by department.
- (7) GSFS shall only use the personal information (name, address, or other information) of the applicants provided during the application process only for the following purposes: ① processing applications and conducting screening to select successful applicants; ② announcement of successful candidates; and ③ conducting admission procedures. Personal information of admitted students shall be used only for the following purposes: ① student affairs (school register, etc.); ② student services (healthcare, career support, tuition exemption, scholarship application, use of libraries, etc.); and ③ tuition fee payment.
- (8) The results of entrance examination tests may be used for the purpose of improving the university's entrance examinations test and/or the education that the university provides.
- (9) Applicants who make any false statements and/or forgery in their application, and/or in any other accompanying forms, statements, or documents, and whose fraud actions in their entrance examination are confirmed with clear evidence may have their admission rescinded even after being accepted or admitted.
- (10) The university will announce on the GSFS website should there be any changes with the exams dates or exam methods due to natural disasters or other uncontrollable events.
- (11) The University of Tokyo has established "The University of Tokyo Security Export Control Regulation" in accordance with "Foreign Exchange and Foreign Trade Act", and conducts strict examinations for acceptance of international students.

Applicants from overseas who fall under any of the conditions set out in said regulations may be unable to enter their desired course or program or may have limited access to research activities despite their preference. For details, please see the following website of the University of Tokyo Office of Export Control (Japanese only):

<https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/export-control/ja/rule.html>

April 2021

Student Affairs Team
Graduate School of Frontier Sciences
The University of Tokyo
5-1-5 Kashiwanoha
Kashiwa City, Chiba 277-8561
in Japan: tel: 04-7136-4092
outside Japan: tel: +81-4-7136-4092
<https://www.k.u-tokyo.ac.jp/>

TABLE 1 Examination Types and Admission Quotas by Department Schedule A:

Departments not listed in the following table are not accepting applicants in this schedule (note 1).

ns	Department	Quota	Examination types
Ordinary Examination	Advanced Materials Science	18	Please obtain the entrance examination guide for each department respectively from the website of the GSFS and check the details.
	Advanced Energy	12	
	Complexity Science and Engineering	11	
	Integrated Biosciences	23	
	Computational Biology and Medical Sciences (Medical Sciences Group) (Biomedical Innovation Course)	24	
	Computational Biology and Medical Sciences (Computational Biology Group)		
	Natural Environmental Studies	some	
	Ocean Technology, Policy, and Environment	7	
	Environment Systems	8	
	Human and Engineered Environmental Studies	16	
	Socio-Cultural Environmental Studies	14	
	International Studies	10	
Special Selection for Applicants with Professions	Advanced Materials Science	some	
	Advanced Energy	some	
	Integrated Biosciences	some	
	Natural Environmental Studies	some	
	Ocean Technology, Policy, and Environment	some	
	Environment Systems	some	
Special Selection for Applicants with Overseas Education	Advanced Materials Science	some	
	Advanced Energy	some	
	Integrated Biosciences	some	
	Natural Environmental Studies	some	
	Ocean Technology, Policy, and Environment	some	
	Environment Systems	some	
	Human and Engineered Environmental Studies	some	
	International Studies	some	
	Total (incl. Schedule B)	163 see Remark (1)	

Note 1 The Graduate Program in Sustainability Science-Global Leadership Initiative accepts applications only for Schedule B.

Schedule B:

Only the departments listed in the following table are accepting applicants according to Schedule B. (note 2)

Examinations	Department	Quota	Examination types
Ordinary Examination	Complexity Science and Engineering	some	Please obtain the entrance examination guide for each department respectively from the website of the GSFS and check the details.
	Integrated Biosciences	some	
	Computational Biology and Medical Sciences	some	
	Natural Environmental Studies	20	
	Ocean Technology, Policy, and Environment	some	
	Environment Systems	some	
	Human and Engineered Environmental Studies	some	
	International Studies	some	
Graduate Program in Sustainability Science-Global Leadership Initiative (note 2)	see Remark (2)		
Special Selection for Applicants with Professions	Integrated Biosciences	some	
	Natural Environmental Studies	some	
	Ocean Technology, Policy, and Environment	some	
	Environment Systems	some	
	Human and Engineered Environmental Studies	some	
Special Selection for Applicants with Overseas Education	Advanced Materials Science	some	
	Integrated Biosciences	some	
	Natural Environmental Studies	some	
	Ocean Technology, Policy, and Environment	some	
	Environment Systems	some	
	Human and Engineered Environmental Studies	some	
	International Studies	some	

Note 2 The Graduate Program in Sustainability Science-Global Leadership Initiative does not offer a Special Selection for Applicants with Overseas Education, but the Ordinary Examination is conducted *only* in English.

Remarks :

- (1) Depending on examination results, the number of students admitted may be less than the quota indicated.
- (2) The quota for the Graduate Program in Sustainability Science-Global Leadership Initiative will be determined after thorough review of six departments of the Environmental Studies Division participating in the program:

- 1) Natural Environmental Studies
- 2) Ocean Technology, Policy, and Environment
- 3) Environment Systems
- 4) Human and Engineering Environmental Studies
- 5) Socio-Cultural Environmental Studies
- 6) International Studies

TABLE 2 Examination Schedule Schedule A

Ref. No	Date or Period	Procedure	Notes
A-1	May 13 (Thu) to 24 (Mon), 2021 *May 24 is a firm deadline	Deadline for applying for individual screening of entrance qualifications	Applies only to applicants who fall under any of Applicant Eligibility items: (1)-(⑥)~⑧, (2) to which (1)-(⑥)~⑧ apply, and (3)-(②)~③
A-2	by May 19 (Wed)	Applicants who require special consideration should consult the Student Affairs Team	Applicants with disabilities who require special consideration.
A-3	June 9 (Wed) to 17 (Thu)	Application Period	For submission methods, please check this website: https://www.k.u-tokyo.ac.jp/exam_e/
A-4	mid-July	Examination Admission Tickets will be sent	If you do not receive the entrance examination admission ticket to the email address registered on the Online Application Site by July 15 (Thu), contact the Student Affairs Team.
A-5	early to late August	I: first exam II: first and second exam	Confirm the date, details of examinations and types of exam (I or II) in the entrance examination guide of the department you are applying to.
A-6	September 7 (Tue)	Announcement of Results	Successful candidates will be announced on the glass-encased bulletin board to the left of the main entrance of the Transdisciplinary Sciences Building at 10 a.m. Successful candidates will also be listed on the following URL. https://go.k.u-tokyo.ac.jp/gsfs-exam GSFS will mail: I: notification of passing the first exam to successful candidates of the first exam (for those who must take the second exam in A-8) II: certificate of admission and admission procedure documents to successful candidates of the second exam (admission in October 2021)
A-7	September 21 (Tue) to 22 (Wed)	Payment of Enrollment fee and Admission Procedure	Admission in October 2021
A-8	mid-December	Sending the second exam schedule	Methods for notification vary by department.
A-9	January to early February, 2022	Second exam of the departments that conduct their second exam in January or February	Confirm details of examinations in the entrance examination guide of the department to which you are applying.
A-10	February 14 (Mon)	Announcement of Results of the second exam	Successful candidates will be announced on the glass-encased bulletin board to the left of the main entrance of the Transdisciplinary Sciences Building at 10 a.m. GSFS will mail a certificate of admission and admission procedure documents to successful candidates for admission in April 2022 (including those who are announced in A-6).
A-11	March 1 (Tue) to 3 (Thu)	Payment of Enrollment fee and Admission Procedure	Admission in April 2022

Schedule B

Ref. No	Date or Period	Procedure	Notes
B-1	October 12 (Tue) to 18 (Mon), 2021 *October 18 is a firm deadline	Apply for individual screening of entrance qualifications	Applies only to applicants who fall under any of Applicant Eligibility items: (1)-(6)~(8), (2) to which (1)-(6)~(8) apply, and (3)-(2)~(3)
B-2	by October 18 (Mon)	Applicants who require special consideration should consult the Student Affairs Team	Applicants with disabilities who require special consideration
B-3	November 16 (Tue) to 25 (Thu)	Application Period	For submission methods, please check this website: https://www.k.u-tokyo.ac.jp/exam_e/
B-4	mid-December	Examination Admission Tickets will be sent	If you do not receive the entrance examination admission ticket to the email address registered on the Online Application Site by December 21 (Tue), contact the Student Affairs Team.
B-5	January to early February, 2022	I: first examination II: first exam and second exam	Confirm the date, details of examinations and a type of exam (I or II) in the entrance examination guide of the department you are applying to.
B-6	February 14 (Mon)	Announcement of Results	Successful candidates will be announced on the glass-encased bulletin board to the left of the main entrance of the Transdisciplinary Sciences Building at 10 a.m. Successful candidates will also be listed on the following URL. https://go.k.u-tokyo.ac.jp/gsfs-exam GSFS will mail: I: notification of passing the first exam to successful candidates of the first exam (for those who must take the second exam in B-9). II: certificate of admission to successful candidates of the second exam (admission in April 2022)
B-7	March 1 (Tue) to 3 (Thu)	Pay Enrollment Fee and complete Admission Procedures	Admission in April 2022
B-8	July	Sending the second exam schedule	Methods of notification vary by department
B-9	August	Second exam (review of master degree thesis, oral exam, interview, etc.) of the departments that conduct their second exam in August	Confirm details of examinations in the entrance examination guide of the department you are applying to.

Ref. No	Date or Period	Procedure	Notes
B-10	September	Announcement of results of the second exam	Successful candidates will be announced on the glass-encased bulletin board to the left of the main entrance of the Transdisciplinary Sciences Building at 10 a.m. GSFS will mail a certificate of admission to successful candidates for admission in October 2022 including .
B-11	September	Pay Enrollment Fee and complete Admission Procedures	Admission in October 2022

TABLE 3 Application Submission

(Note: All the documents must be prepared in either Japanese or English. Any official documents written in any other language must be accompanied by a Japanese or English translation of the document.)

Application Submission	Applicant	Notes
(1) Photo data	all applicants	Upload from the Online Application Site. (File type : jpeg Size : 308pixels in height×236pixels in width, Resolution : 300dpi, Up to 1MB)
(2) Payment Certificate	all applicants	(i) Screening fee: For the amount of screening fee, please check the entrance examination guide for each department respectively. No screening fee is required for 1) applicants who expect to matriculate into a Doctoral course of The University of Tokyo directly after graduating from a Master course or Professional Degree course within the university in March 2022 (in October 2021 for those applicants to enter GSFS in October 2021, or in the day before admission date for those applicants to enter GSFS in October 2022), or 2) foreign national applicants who are MEXT scholarship (Japanese Government (Monbukagakusho) Scholarship) recipients including both students and research students. Those scholarship recipients who are not students (or research students) of The University of Tokyo must submit a certificate of proof of MEXT scholarship status. (ii) Payment method Please complete the payment procedure from the Online Application Site.
(3) Transcripts of Academic Records	all applicants (Exemption : applicants who have completed or are expected to complete a Master course at GSFS do <i>not</i> need to submit such transcripts.) Some departments do not require that transcripts be submitted. Please refer to the entrance examination guide of the department you are applying to for details.	Transcripts of academic records from institutions previously attended (including liberal arts at the undergraduate level). If you transferred to another university before completing your undergraduate and/or graduate program, also include a transcript from every university, college, or other academic institution where such records took place. All transcripts must be official, original copies issued by the Registrar or proper office of every institution. Consult the Student Affairs Team in the event that you are unable to submit an original transcript.
(4) Diploma or certificate of graduation or completion	applicants who have already completed graduate school at an institution other than GSFS at the time of application	A certificate of anticipated graduation is unnecessary unless required by the department to which you are applying. Consult the Student Affairs Team in the event that you are unable to submit an original diploma and/or certificates of graduation or completion.

Application Documents	Applicant	Notes
(5) Inquiry Sheet	all applicants	Use the form designated by each department and fill in all required fields. The form downloaded from the GSFS website be used.
(6) Research/Work Balance Plan	applicants who want to enroll while remaining employed at a company, government agency, or other organization, etc.	Applicants who will conduct research while remaining gainfully employed at a company, government agency, or other organization, etc. must submit a research/work balance plan that explains how the applicant anticipates conducting research while maintaining his/her employment status at a company, government agency, or other organization, etc.
(7) Certificate of Residence	only foreign national applicants currently residing in Japan	Apply for this certificate at the city hall or municipal office at which you are registered as a foreign resident in Japan. Copies will not be accepted.
(8) Other items	if applicable	Other items (Certificate of Japanese Proficiency, TOEFL score report, research plan, verification reports from China Academic Degree and Graduate Education Development Center (CDGDC), etc.) may need to be submitted and some items may not be required, by the respective departments. Refer to the entrance examination guide and related website for the department you are applying.

*Please upload (3), (4) and (7) from the Online Application Site and send them to Student Affairs Team Graduate School of Frontier Sciences by postal mail.